

平成十六年度第十五回

法華経・日蓮聖人・日蓮教団論研究セミナー（公開講座）開催要綱

教団の歴史から学ぶ平和と戦争

講演 「曹洞宗の戦時教学―聖典の不敬字句問題と皇道仏教を中心に」

曹洞宗人権擁護推進本部員・足利工業大学講師 工藤英勝師

「真宗大谷派における戦死者儀礼の変遷」

真宗大谷派教学研究員・大谷大学非常勤講師 山内小夜子師

日時 平成十七年二月九日（水）

会場 日蓮宗宗務院五階講堂（東京都大田区池上二―三二―一五）

対象 公開講座―日蓮宗教師・寺族・檀信徒

資料 現宗研作成「教団の歴史から学ぶ平和と戦争」資料（書籍・論文等十六種抜粋）を事前配付

昭和六年満州事変から昭和二十年敗戦までの十五年戦時下の日蓮宗を考えるキーワードとして、日本精神運動・国民精神作興・国体・皇道仏教・法皇冥合（王仏冥合）・勅額拝戴・教学刷新・曼荼羅遺文不敬字句削除等を用い、以下の書籍・論文を抜粋し、表題事項研究の参考に供します。特に、「改新日蓮宗報」第十四・十五合併号（昭和二十四年一月十五日刊）所収「宗務総監西川景文年頭所感『先づ懺悔せよ』」をいっ読願いたく存じます。